医療情報部
Department of Medical Information

詳細はこちら

部長
まえだ　きよし
前田　清



専門
消化器外科学

業務内容・特徴

当院では、病院情報システムによる診療科及び中央部門の情報化、ネットワーク化を通じて、患者さんの診療情報を医師・看護師等の医療従事者が共有することにより、高度医療、先進医療を行っています。

医療情報部は、病院情報システムや診療記録の管理に関する中心的な役割を担っています。医療情報部長の下に事務組織である医療情報課を配置し、情報システム担当は病院情報システムの企画、運用管理、保守管理、研究支援を担当しています。

診療情報管理担当は、診療記録の適正な取り扱いという視点から業務を行っており、診療情報管理士によるカルテ・退院時サマリーの点検、がん登録、カルテ開示対応、電子署名・タイムスタンプを導入した紙文書のスキャンニング、データ分析を担当しています。

スタッフ

副部長	おかむら　ひろし **岡村　浩史**
准教授	なかまえ　みか **中前　美佳**
講師	なかこ　そういちろう **仲子　聡一郎**
病院講師	なかや　ようすけ **中舎　洋輔**

取り組み

当院は 2007 年から電子カルテを導入しており、この蓄積データの活用は、大学病院の使命である臨床、研究、医学教育並びに病院運営の意思決定において非常に重要です。近年では地域医療の充実のために関連病院への電子カルテ公開等の情報利活用も推進しています。

一方で医療を取り巻く情勢変化、IoT や AI の実用化、サイバー攻撃の巧妙化が急激に進んでおり、このような環境下でデータ活用を推進するためには、臨床と情報処理技術の理解、社会環境変化への対応、個人情報保護や情報セキュリティ管理の視点、D X の視点が重要となります。

そのため、医療分野と情報分野の橋渡しができる人材を育成し、データ活用や調整力の発揮により、医療の安全性・効率性・患者満足度の向上および地域医療や社会への貢献を実現する取り組みを、医療情報部一丸となって推進してまいります。

DX 推進センター
Digital Transformation Center

センター長
まえだ　きよし
前田　清



専門
消化器外科学

業務内容・特徴

医療を取り巻く環境は、労働人口の減少や高齢化の進行、医療ニーズの多様化など、大きな転換期を迎えています。こうした課題に対応する有効な手段として、医療分野における DX（デジタルトランスフォーメーション）の重要性は、年々高まっています。

2024 年 10 月に DX 推進センターを設置し、新常識を創造し患者満足と病院の魅力を未来につなぐ DX を目指して、各部門との対話を重ねながら、患者さんの声や業務データをもとにニーズや課題を分析し、業務プロセスの見直しや改善を継続的に実施しています。これにより、業務負担の軽減や情報共有の円滑化といった具体的な成果が少しずつ現れ、医療の質と患者満足度の向上に寄与しています。

日々進化するデジタル技術を柔軟に取り入れつつ、現場に根ざした DX を追求することが私たちの姿勢です。今後も患者さんの視点を大切にしながら、安全で質の高い高度医療提供を支える基盤として、より成熟した「デジタルヘルスホスピタル」の実現に取り組んでまいります。

スタッフ

副センター長	おかむら　ひろし **岡村　浩史**